

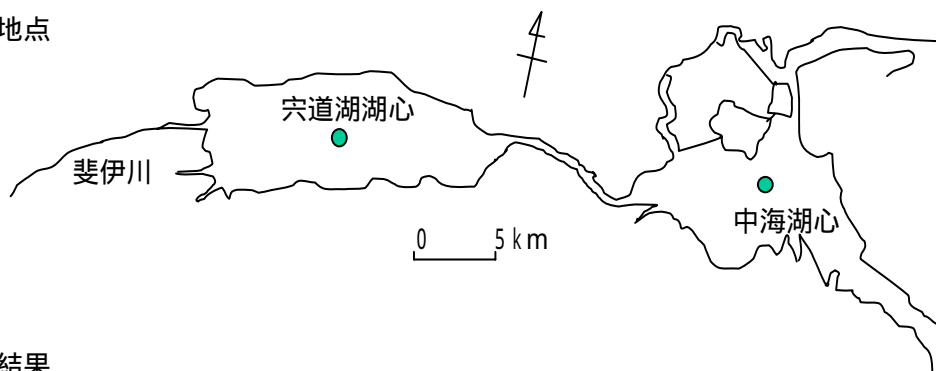
輝水だより（第78号）

[お問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

水環境グループ(電話:0852-22-5562)

平成16年6月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点

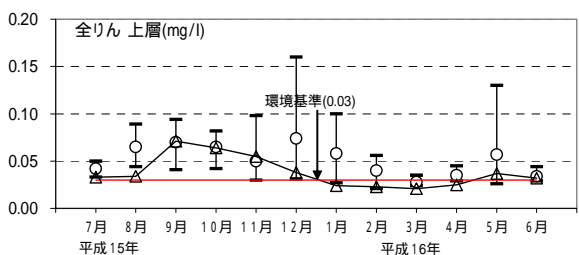
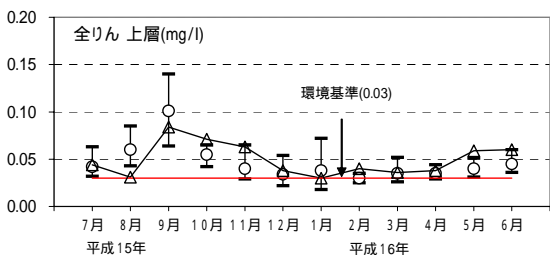
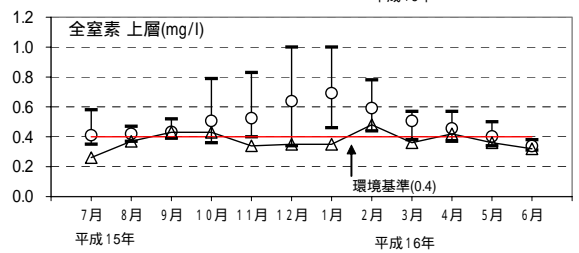
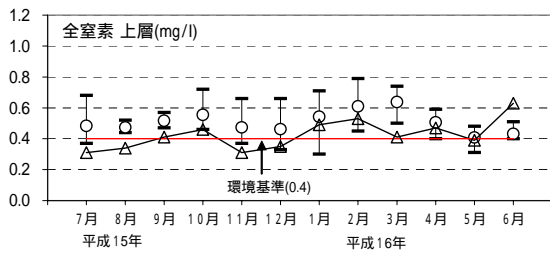
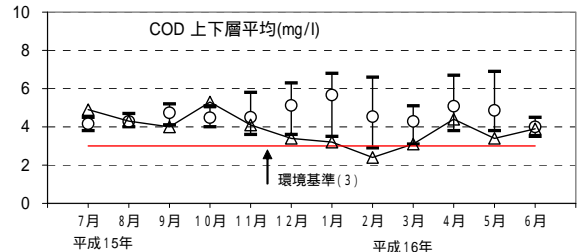
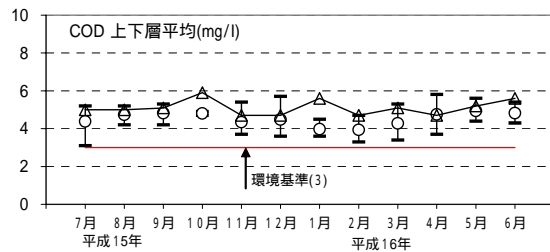
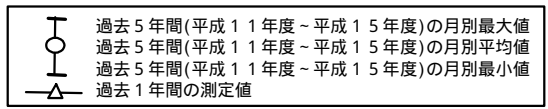


2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成11年度～15年度)の同月と比べると、COD(化学的酸素要求量)、全窒素及び全りんともに最も高い濃度でした。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、CODは平均値とほぼ同じ、全窒素及び全りんは平均値よりやや低い濃度でした。
- (3) 6月上旬には宍道湖の南西部(6月中旬には宍道湖の約2/3相当の区域に拡大)及び中海東部の各地域においてプロロケントラムという植物プランクトンによる赤潮が見られました。

項目	単位	環境基準 (湖沼A 類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]*平成15年度平均	
			4月	5月	6月	4月	5月	6月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)		-	12.2	19.8	21.5	13.1	20.1	22.8	-	-
pH(上層)	-	6.5～8.5	8.3	8.1	8.7	8.2	8.0	8.1	-	-
COD(全層平均)	mg/l	3以下	4.7	5.2	5.6	4.4	3.4	3.9	4.6	4.2
SS(上層)	mg/l	5以下	4	6	9	4	2	2	4	6
DO(上層)	mg/l	7.5以上	10.9	8.5	8.8	10.6	8.1	7.4	10	9.7
DO(下層)	mg/l	7.5以上	9.7	7.6	8.0	3.6	1.0	0.7	9.2	3.6
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.47	0.39	0.63	0.42	0.36	0.32	0.41	0.46
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.038	0.059	0.060	0.025	0.037	0.032	0.042	0.043
Cl(上層)	mg/l	-	1800	2900	2100	8600	11000	5700	120	7200
Cl(下層)	mg/l	-	1900	2900	2300	14000	13000	14000	1400	15000
クロロフィルa(上層)	μg/l	-	19	10	26	9.1	2.5	5.0	19	18

*平成15年度公共用水域水質測定結果による。



矢道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 化学的酸素要求量の略称です。湖水中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんとともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。全窒素とともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は約 19000mg/l です。